

北日本図書館連盟児童・青少年部門研究協議会 福島県図書館研究集会報告

<テーマ> 「10代の子どもたちに図書館ができること
～思春期にどう本を手渡すか～」



表彰式の様子



獨協大学 井上靖代 氏



ヤングアダルト研究会 清野愛子 氏

11月13日(木)、当館講堂において、北日本図書館連盟児童・青少年部門研究協議会ならびに福島県図書館研究集会が開催されました。参加者は約130名でした。開会あいさつ、全国公共図書館協議会表彰伝達・福島県公共図書館協会表彰式、来賓祝辞などの開会行事の後、獨協大学経済学部経営学科准教授の井上靖代氏による基調講演「思春期の子どもたちと読書～ヤングアダルトサービスの基本とは」がありました。様々な悩みや問題を抱える現代の若者達の心を捉えた上で、彼らの目を図書館に向けさせるための施設面での工夫や、想像力豊かな人間として育ててゆくために、図書館職員の意識をどう変えるべきかなどのお話でした。その後、ヤングアダルト研究会の清野愛子氏による「荒川区立図書館におけるヤングアダルトサービス実践例」、元山形県新庄市立図書館長の佐藤良知氏による「青春真只中！中学生への紙芝居」、福島県立葵高等学校主任学校司書の長崎キヨ子氏による「生徒の日常に読書と図書館を～めざすはコンビニ図書館」の事例発表がありました。最後の意見交換の時間まで熱心な討議がなされ、図書館におけるヤングアダルトサービスの奥深さと今後の重要性を再認識させられた会となりました。



元新庄市立図書館長 佐藤良知 氏



葵高等学校主任学校司書 長崎キヨ子 氏



意見交換の様子